

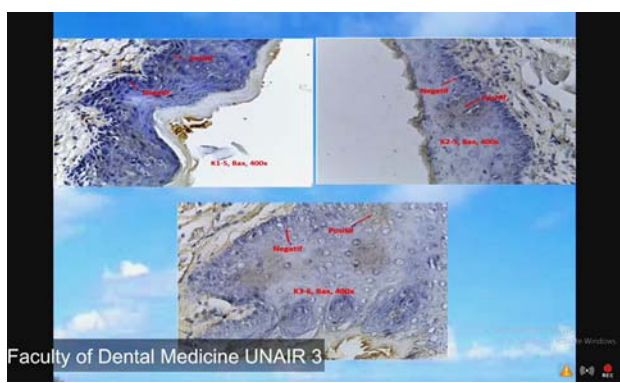





<p>【イベント名】 第43回 APAN 会議 歯科</p>	<p>【概要】 45,000以上の人々が口腔がんと診断され、8,000以上の人が死に至る。口腔がんはコントロール可能だが、早期発見しないかぎりその効果は無い。人々ががんの予防としてすべきことを全て実行すればがんは防げるという研究結果がある。このセッションでは最新の研究と、歯科医師が重要な役割を担う口腔がん予防のための方法を模索した。アジアのいくつかの歯科施設で、このことについて活発に議論した。5名が研究と症例を発表し、口腔がん予防に関する幅広い知識を与えてくれた。</p>
<p>【期日】 2017.02.15</p>	
<p>【会場】 インド ハビタット センター (インド), インドネシア 大学 (インドネシア), アイルランガ大学 (インドネシア), ブラウィジャヤ大学 (インドネシア), ハン トゥア スラバヤ 大学 (インドネシア), 鹿児島大学 (日本), 東北大学 (日本), 国立台湾大学 (台湾)</p>	
	
<p>本セッション主催者のDr. Aqsa.</p>	<p>インド ハビタット センターでの会場の様子。</p>
<p>撮影場所：インド ハビタット センター</p>	<p>撮影場所：インド ハビタット センター</p>
	<p>CASE REPORT EXAMINATION → A solitary ulcerated nodular growth on the right border (lateral) tongue with sharp adjacent teeth</p> 
<p>提示されたスライド。</p>	<p>提示されたスライド。</p>
<p>撮影場所：九州大学病院</p>	<p>撮影場所：九州大学病院</p>
	
<p>アイルランガ大学での会場の様子。</p>	<p>ハン トゥア スラバヤ 大学での会場の様子。</p>
<p>撮影場所：アイルランガ大学</p>	<p>撮影場所：ハン トゥア スラバヤ大学</p>